

第1回倉敷市総合計画審議会 議事録（要旨）

会議名称	第1回 倉敷市総合計画審議会	
開催日時	令和元年11月22日(金) 13:30~14:20	
開催場所	倉敷市役所 本庁舎10階大会議室	
出席者 ※敬称略	審議会 委員	浅野静子、伊東裕紀、井上峰一、大賀環子、大島康弘、岡崎真宏、小川洋一、小倉智美、尾崎聡、後藤田恵子、兒山和子、斎藤武次郎、佐藤均、塩津孝明、竹内京子、竹中麻由美、武則啓子、永井圭子、中島光浩、難波朋裕、新垣敦子、平井俊光、平松恵美子、藤原薫子、前田勝則、松岡智子、三村聡、守屋弘志、横溝誠子
	市職員	市長、企画財政局長、企画財政部長、同参事、総合計画策定研究班員、事務局
関係者	関係者	報道関係者、委託事業者
傍聴者	傍聴者	1名（定員5名）
欠席者 ※敬称略	審議会 委員	板谷利昭、井上稔裕、田野美佐、藤野光喜、三村英世、守永一彦
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状交付 2 開会 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 諮問 7 会長・副会長あいさつ 8 議事・報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 倉敷市第七次総合計画の策定について (2) 倉敷市総合計画審議会分科会設置要綱について (3) 倉敷市の現況について 9 閉会 	

会議内容

1 委嘱辞令交付

2 開会

3 市長あいさつ

市長 本日は、大変お忙しい中、委員の皆様方におかれましては、総合計画審議会の委員をお引き受けいただき、心より感謝を申し上げます。大変ありがとうございます。また、日頃より倉敷市政の発展につきまして、各分野で多大なるご尽力を賜っておりますことに心から敬意を表します。

総合計画の審議会委員を皆様にお願ひしましたのは、現在、市の一番大きな計画の倉敷市第六次総合計画が平成23年度から令和2年度までということで進捗しております。大きなテーマとして、「自然の恵みとひとの豊かさと個性きらめく倉敷」という市の将来像を掲げて、取り組んでいるところですが、来年度をもって10年の計画期間が満了となります。この10年の間に、全国的には人口の問題、また地方の活性化、地方創生、倉敷市においては、昨年の大変大きな災害をはじめとする自然災害への対応、最近では、今年10月からの幼児教育の無償化など、様々な面で社会環境の変化が起こっています。

そうした中で、特に地方創生につきましては、全国のまち・ひと・しごと創生にあわせて、倉敷市では、平成27年に倉敷みらい創生戦略を策定して5年計画で進めてきていますが、総合計画との整合性という観点から、倉敷みらい創生戦略を次期の総合計画にあわせていければと思っています。さらに直近で、今年3月に真備地区復興計画を策定し、災害の対応、また災害にも強いまちづくりということをして市全体で取り組んでいるところなど、様々な観点を盛り込んで、次の第七次総合計画を令和2年度中に策定して次の10年ということで令和3年度から取り組んでいきたいと考えています。

また、倉敷市では平成28年にG7倉敷教育大臣会合を開催させていただきましたが、そのG7で、また、ちょうど同じ時期の国連においても、SDGsという、だれも取り残さない持続可能な社会をつくっていくことが、世界的に大変大きな目標とされました。大変盛りだくさんですが、このSDGsについても次期の総合計画の中で大きく取り組んでいきたいと考えているところです。

このように、倉敷市の今後の大きな10年間の方向性を決めていく審議会でありますので、委員の皆様方には、それぞれのご知見を、ぜひ市の将来に向けて反映させていただき、様々なご意見を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

4 委員自己紹介

5 会長・副会長の選出

会 長：三村 聡 委員

副会長：竹内 京子 委員

6 諮問

7 会長・副会長あいさつ

三村 会 長 | 会長の重責を仰せつかりました岡山大学地域総合研究センター長をしています三村聡と申します。よろしくお願いいたします。

今の第六次総合計画は非常に良くできている総合計画だと思いますが、冒頭、市長からお話がありましたように、地方創生戦略や人口ビジョンが出まして、平成30年7月豪雨災害もあり、いろいろな形で激動する時代です。倉敷市におかれましては、この地方創生の中で高梁川流域圏7市3町の連携中枢都市を担われる大きな役割もあります。また、倉敷市で開催されたG7倉敷教育大臣会合で出ました、一人も取り残さない社会的包摂というSDGsのおおもとを成すものは、倉敷市のG7から世界に発信されたと感じていて、大学で学生にも教えています。このSDGsも踏まえて、第七次総合計画は大きな計画になると思いますが、皆様方お一人お一人のお力添えを頂きながら、良い計画をつくりあげることに邁進して参りたいと思いますので、微力ではありますがよろしくお願いいたします。

竹内副会長 | 副会長を仰せつかりました、くらしき作陽大学の竹内と申します。第六次総合計画につきまして、教育委員会でお世話になった際にいろいろ勉強をさせていただき、三村先生がおっしゃったように、大変優れた計画という風に受け止めていました。大学で教鞭をとっておりますので、一人でも多くの学生が、さらに住みたくなるまち、住みやすいまち、住み続けたいまちを、県外から来られた学生も倉敷に住み続けたいと思えるようなまちに、といつも考えて活動していますので、第七次総合計画もそのようになっていくと良いと思っています。

微力ではございますが、皆様のお力をお借りしながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

8 議事・報告

(1) 倉敷市第七次総合計画の策定について

事務局より、会議資料を説明。

| 意見等なし

(2) 倉敷市総合計画審議会分科会設置要綱について

事務局より、会議資料を説明。

分科会設置(案)を諮る。

異議・意見等なし（承認）

(3) 倉敷市の現況について

事務局より、会議資料を説明。

三村 会長

事務局の説明にもありましたように、今、第六次総合計画が進行していきまして、途中から地方創生、まち・ひと・しごとといったキーワードが定着してきて、創生総合戦略と人口ビジョンができました。これは、国の社人研の推計で、何もしなかったら人口がどんどん減ってしまう、みんなで頑張って人口減少を少しでも食い止めようというようなことで、創生総合戦略を推進しているところです。特に、少子化がありますので、若い女性が輝き続けていくまちにしていきたい、さらに、高校生や大学生の地方への就職を増やさなければということで、私たちも頑張らないと、と思っています。

このように住み続けるまちとしては、倉敷市は非常に魅力の高いまちだと衆目の一致するところでありまして、関東の人に岡山と聞くと倉敷と言われます。このまま放っておくと人口が減少するという全国的な課題もありますが、そうした対策も含めて、第七次総合計画でやっていければと思っています。

また、真備の復興計画の推進委員長をさせていただいていますが、真備に戻りたいという人がとても多いです。これは他の被災した都市と比べて、やはり倉敷の魅力があるということだと思います。歴史や文化に彩られた豊かな資源を持つ倉敷の第六次総合計画を、さらに前に進めていくといった流れができればと思っています。

皆様、ご質問やご意見など、何かございませんか。

委員より意見等なし

三村 会長

本日は初回ですので、現状説明ということで、次回以降にご意見をいただければと思います。皆様、本日はありがとうございました。